

保護者様

勝浦市立勝浦小学校
校長 原田 齊

アンケート調査の集計結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、学校教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、7月に実施しました保護者の皆様のアンケート、子どものアンケート、教職員による自己評価を集計した結果と今後の改善点についてお知らせします。

また、学校評価の客観性・透明性を高めるために、地域住民の代表の方々や愛育会役員による学校関係者評価委員会を8月29日（水）に開催しました。その会議の中で、今回の結果について評価し、提言をいただきましたので、併せてお知らせします。

なお、項目は保護者・子ども・教職員の評価結果から、今年度の重点課題に関連するものを選んで、比較したものです。また、数値については「とてもそう思う」「すこしそう思う」を含めた数値です。

【保護者・子ども・教職員の3者の比較から】

1 進んで学ぶ、かしこい子の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、毎日楽しく登校している。	98%	98%	100%
子どもは、「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している。	87%	97%	55%
子どもは、進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。	76%	93%	75%
子どもは、よく読書をしている。	40%	85%	65%
子どもは、自分の考えを持ち、学習に進んで参加している。	64%	91%	75%

◎「毎日楽しく登校している」については、保護者・子ども・教職員ともプラス評価をしている。

「読み・書き・計算」などの学習内容を理解している」については子どもがプラス評価である。

「進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる」は子どもの評価が高い。

▲「進んで宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる。」は、保護者・教職員の評価が低い。

「よく読書をしている」は、保護者・教職員の評価がとても低い。

「学習内容を理解している」は、教職員の評価が低い。

「自分の考えを持ち、学習に参加している」は、保護者・教職員の評価は低い。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ①毎日楽しく登校できるように、一人一人に応じた対応をしていきます。
- ②学習内容の定着に向け、子どもが授業に意欲的に取り組めるよう、授業の工夫改善を図っていきます。
- ③宿題や家庭学習への取り組みについて家庭と連携を図り、充実させていくことで、一人一人の子どもがさらに基礎基本を身に付けられるようにしていきます。
- ④読書については、学校では、読書の時間を十分にとり、読書の楽しさを味わわせるように努めていきます。また、家庭でも読書に親しめるように、今後も奨励する本を紹介していきます。さらに、親子読書のよさや家庭での読書の大切さについて保護者の方々と一緒に家庭教育学級の中で考え、読書活動が充実していけるようにしていきます。
- ⑤今後も、「自ら学び、思考し、表現する力」を育成するための、授業改善に取り組んでいきます。

2 「思いやりのある、やさしい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、悪口を言ったり、いじわるをしたりせず、友だちとなかよくしている。	76%	98%	75%
子どもは、ありがとう、じょうずだねなどのぽかぽか言葉を使っている。	85%	98%	70%
子どもは、友だちの良いところを認め互いに協力しながら生活している。	85%	98%	85%
子どもは、学校での約束や社会（交通ルールを含む）のルールを守ることが身に付いている。	89%	98%	55%
子どもは、日々の学校生活の中で、子どもたちは笑顔で挨拶している。	76%	92%	60%
子どもは、先生方に悩みを相談している。	85%	99%	80%
子どもは、学校や家庭のできごと、友だちのことをよく話してくれる。	89%	94%	95%

◎子どもは、すべての項目についてプラス評価をしている。

保護者は、7項目中5項目でプラス評価をしている。

▲教職員は、全体的に評価が低い。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ①学校では今後も引き続き、豊かな人間性や社会性の育成に向けて、保護者と連携をしながら進めていきます。
- ②学校では、子どもたちと話し合い、ルールとは何か、ルールを守ることの大切さについて今後も指導していきます。
- ③学校では、今後もあいさつの大切さを伝え、計画委員会を中心にあいさつ運動を引き続き実施し、近所の人たちや交通指導をしてくれている方々にも元気にあいさつができるように指導していきます。
- ④学校では、子どもたちと教職員の人間関係を育み、何でも相談できるようにしていきます。

3 「健康でたくましい子」の育成のために

重 点 項 目	保護者	子ども	教職員
子どもは、歯磨きしたり、好き嫌いをしたりせず健康に気を付けて生活している。	85%	95%	90%
子どもは、早寝早起きをして、朝ご飯を食べて登校している。	90%	93%	90%
子どもは、火災や地震・津波・不審者に対して、安全な行動をとることができる。	81%	97%	76%
子どもは、何事にもあきらめず、頑張って取り組んでいる。	83%	97%	70%

◎子どもは、すべての項目についてプラス評価をしている。

保護者は、比較的プラス評価をしている。

▲「火災や地震・津波・不審者に対して安全な行動をとることができる。」については、子どもはプラス評価をしているが、保護者・教職員の評価はやや低い。

「何事にもあきらめず、頑張って取り組んでいる。」については教職員の評価がやや低い。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ①保護者の方々の協力で、「健康に気を付けて生活する。」「早寝早起きをし、朝ご飯を食べて登校する。」子どもがほとんどです。まだ身に付いていない子どもに対しては、一人一人の子どもの実態をしっかりと把握し、保護者と学校が連絡を取り合い、協力して進めていきます。
- ②今後も、学校と保護者が連携し、災害時に起こる様々な危険について取り上げ、「自分の命は自分で守る」防災意識の定着を図るとともに、災害時に他者の安全についても心配りできる児童の育成を図っていきます。
- ③子どもたちに自分の目標を持たせ、自力で解決する機会を設け、自己実現ができるように一人一人の実態に応じた指導、支援をしていきます。

4 「地域と歩む学校づくり」のために（保護者の学校評価と教職員の自己評価について）

評 価 項 目	保護者	教職員
学校は、子どもの基礎学力（読み・書き・計算）の定着に向けて取り組んでいる。	92%	95%
学校は、子どもが授業に興味・関心をもち、意欲的に取り組めるよう様々な工夫をしている。	95%	95%
学校は、自分で考え行動できる子どもの育成に取り組んでいる。	88%	85%
学校は、子どものよいところや頑張りを認め、一人一人に応じた適切な指導・支援をしている。	87%	100%
学校は、いじめのないよりよい人間関係づくりに努めている。	90%	95%
学校は、子どもの悩みや相談にきちんと対応している。	89%	100%
学校は、子どもの健康や食生活の充実のために対応している。	97%	85%
学校は、子どもが運動に親しみ、体力を向上させるために取り組んでいる。	97%	95%
学校は、家庭・地域と連携し、子どもに避難訓練、交通安全指導、不審者対応等で安全意識を高めている。	94%	95%
学校は、平素の教育活動を学年だよりやホームページ、学校公開等を通して積極的に伝えている。	93%	95%
学校は、学校評価や保護者、地域の意見・要望等を教育活動に生かしている。	84%	90%

◎保護者は10項目中、9項目すべてにプラス評価をしている。

教職員は10項目中、10項目でプラス評価をしている。

▲保護者は、「学校評価や保護者、地域の意見・要望等を教育活動に生かしている。」がやや低い評価をしている。



【 今 後 の 改 善 点 】

- ①「一人一人に応じた適切な指導・支援」「いじめのないよりよい人間関係づくりの悩みや相談への対応」については、一人一人の子どもが持てる力を発揮し、よりよく成長していけるようにきめ細かな指導と支援をしていきます。また、子どもの変化を見逃さず、早期発見・早期対応をしていくとともに、保護者との連携を図っていきます。
- ②ホームページの記事や内容を今後も工夫していき、教育活動の様子、愛育会の様子などを積極的に伝えていきます。
- ③アンケート等で出された意見や要望について十分に検討し、教育活動の中で生かしていきます。

◆学校関係者評価委員の方々からの主な提言（8月29日の学校関係者評価会議より）

1 読書について

- 子どもに読書を親しませるには、学校だけでなく家庭での取り組みが不可欠である。家庭でも読み聞かせをするなど、読書に親しめる環境を作っていくことが大切である。
- 家庭教育学級などで読書についての講話等を実施し、愛育会全体で取り組んでいくことを検討すべきである。

2 あいさつ、規範意識の醸成について

- 子どもと保護者、教職員とのアンケート調査にずれがある。子どもたちに、どこができていて、どこができていないか、そしてあるべき姿を具体的に示し、指導・助言していくことが大切である。
- しつけは、家庭で身に付けさせるべきことが多い。家庭で行うべきことは何かをしっかりと認識してもらい、連携して取り組んでいくことが大切である。（家庭教育の大切さ）

3 学力向上について

- 学習がわからないと答えている子どもはもちろんのこと、一人一人にしっかり学力をつけるよう指導してほしい。

4 その他

- 保護者の方々からの自由記述に記入してくれていることは良いことである。保護者の意見・要望をこれからも大切にしてもらいたい。
- コミュニケーション能力を育てていくためにも、学校だけでなく家庭での役割も重要である。

※学校関係者評価委員の方々からいただいた提言について、2学期以降、保護者の方々と連携・協力して進めていきます。

<意見・要望> ※保護者の皆様からの意見・要望と学校の今後の取り組み等について

保護者からの意見・要望	学校の今後の取り組み等について
1 授業についていけているのか、我が子の学習達成の度合いがよくわからない。テストもその都度返却してもらえると達成度もわかる。 4名	◎保護者が児童の学習達成の度合いがわかるような方法について検討し、改善していきます。
2 宿題の量がすくない。 2名 宿題の量が多すぎる。 1名	◎学年の実態に応じて宿題を出しています。今後も学年の実態、学習している内容に応じた宿題を出していきます。また、個別面談でお渡ししました「学習のすすめ」を参考にしながら、児童一人一人が自主学習できるように学校でも指導していきます。ご家庭でも、声をかけてくださると幸いです。
3 不審者情報に対する対策がいつも同じである。市の防災無線放送で周知できないのか。(学校はどのような対策をとっているのか。) 2名	◎振り込め詐欺防止については、勝浦市が警察と協議したうえで放送しています。不審者情報の放送については、今後、教育委員会をとおして勝浦市や警察と協議・検討してもらいます。 また、学校では、不審者情報があった場合は、教育委員会・警察に連絡し、連携して児童の登下校の見守りをしていきます。 さらに、全職員で通学路の安全点検を行い、危険箇所・要注意箇所を把握し、関係者と共有して、児童が安全に登下校できるようにしていきます。
4 授業公開を増やしてもらいたい。オープンスクールのように1週間いつでも参観できるようにしてもらいたい。 2名	◎日々の児童の様子を参観できる機会が増やせるかどうか、学校行事、校外行事等と照らし合わせながら検討していきます。
5 今時、名札をつけて登校させるのはどうかと思う。せめて名前が見えないようにすべきではないか。 1名	◎登校時に名前が見えないように裏返しにできる名札のケースを平成30年1月より、勝浦市の衣料品店で販売を開始しています。保護者の皆様には2月のアンケート調査の集計結果についての文書でお知らせしてあります。新しく購入される際にご家族で相談され、購入してください。
6 子どもの頑張りを認めていない。また、児童や保護者への対応の仕方に差がある。 1名	◎今後も、児童のよいところや頑張りを認め、一人一人に応じた指導・支援をしていきます。また、児童や保護者の方々に信頼されるように、全職員が情報を共有し、組織として対応をしていきます。
7 ランドセルの中身が多すぎて気になる。ランドセルがパンパンすぎて筆箱も入りずらそうである。 1名	◎持ち帰る学習用具を検討し、少しでも荷物が減るようにしていきます。
8 水筒の飲み物だけでは足りなくなることがある。冷水機を設置してもらえるとよい。 1名	◎冷水機の設定については、教育委員会に要望していきます。
9 歩道トンネルが暗すぎる。不審者情報が多いわりに改善されていない。 1名	◎教育委員会から千葉県土木事務所に連絡し、6カ所をLED蛍光灯に変更してもらいました。今後も、さらなる改善のために要望していきます。